

# 長野県合奏コンクール（兼 全日本リコーダーコンテスト長野県予選）要項

- 1 主 催 長野県音楽教育学会・全日本リコーダー教育研究会長野県支部
- 2 後 援 長野県教育委員会
- 3 目 的  
長野県内の小、中学校、及び高等学校、大学の児童生徒、学生を対象とし、アンサンブルを通して、その演奏能力と音楽性を高めるとともに、情操教育の向上に役立てることを目的とする。
- 4 参加の対象  
長野県の小、中学校、及びリコーダーコンテストに参加希望の高等学校、大学が、それぞれの学校単位で参加できる。演奏人数の制限はない。
- 5 参加規定
  - ・小、中学校の各部で行う。高等学校、大学は、リコーダー部門のみの参加とする。
  - ・各部をそれぞれ次の部門に区分する。
    - リコーダー部門（小・中・高・大）
    - 器楽合奏部門（小・中）
    - 金管吹奏楽部門（小）
    - 吹奏楽部門（中）
  - ・リコーダー部門の審査が、リコーダーコンテストの審査を兼ねる。
  - ・演奏時間は、リコーダー部門は6分、他の部門は、小学校8分、中学校9分以内とする。時間超過は失格とする。
  - ・審査用に提出する録音は、MD、CD、カセットテープとする。録音の不具合及び輸送に関わる事故は提出者の責任とする。

[リコーダー部門について]

  - ・各部門の伴奏者（ピアノ、電子チェンバロ等）は、指導者でも可。
  - ・編成は、リコーダーを中心としたものを原則とする。
  - ・各部門をそれぞれ次の3つの編成に区分する。
    - ア 独奏・・・伴奏可。
    - イ 重奏・・・2重奏から可。
    - ウ 合奏・・・同一パート2名以上の編成。独立した指揮者をおいても可。
- 6 審査方法
  - ・各学校で責任を持って録音したMD、CD又はカセットテープを、長野県音楽教育学会より委嘱した県内音楽教育指導者が審査にあたる。
  - ・各都ごと、部門別に審査する。
- 7 表彰
  - ・各部門ごとに優秀賞・優良賞・佳良賞・奨励賞等を決め、小中各都ごとに、最優秀賞を1校決め、各校に賞状を贈る。
  - ・リコーダー部門に応募し、全日本リコーダーコンテストに参加を希望している団体の中から、優秀な団体若干校を3月に開催される予定の全国コンテストへ出場推薦する。
- 8 参加方法
  - ・所定の参加申し込み書に記入し、審査用録音音源と一緒に下記の合奏コンクール事務局宛に送る。
  - ・参加料無料。
  - ・申し込み締切 10月第2金曜日
  - ・録音したMD、CD又はカセットテープには学校名を必ず明記する。
  - ・MD、CDやカセットテープは、審査終了後に返却するので、返信用封筒に切手を貼付して返信先を明記する。
  - ・参加する団体は、団体名（学級・学年・吹奏楽団・吹奏楽部・クラブ等）を明記する。
  - ・リコーダーで参加する団体は、合奏コンクール及びリコーダーコンテストへの参加の有無を明示する。

問い合わせ・申し込み先

〒380-0803 長野市三輪8丁目3-2

長野市立三輪小学校内 合奏コンクール事務局  
宮川 史枝 宛

電話 (026) 234-1251

FAX (026) 234-1252

長野県合奏コンクール 参加申込書  
(兼 全日本リコーダーコンテスト長野県予選)

平成24年 月 日

長野県音楽教育学会会長  
小林 雅彦 殿

フリガナ  
学校名

フリガナ  
校長名

フリガナ  
所在地〒

公印

電話

FAX.

以下の内容でコンクールに参加します。

フリガナ  
1 指揮者名 (児童・生徒の場合は、学年を明記する)

フリガナ  
2 曲名

フリガナ  
・作曲者名

フリガナ  
・編曲者名

3 演奏形態  
( リコーダー独奏、リコーダー重奏、リコーダー合奏、器楽合奏、  
金管合奏、吹奏楽、管弦楽、弦楽合奏 )  
その他( )

4 楽器編成は右側に記載する

5 演奏人数( )名

6 演奏時間( 分 秒)

フリガナ  
7 連絡責任者、氏名

フリガナ  
8 連絡責任者住所 〒

・電話

・FAX.

9 リコーダーで参加する学校は下記のどちらかに○印をする  
(1)全日本リコーダーコンテストに ( 参加する 参加しない )

楽器編成表 (なるべく高音順に、打楽器を後に)

番	楽器名	数
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
・持ち替えには○印を		
・合計		名

学校名

団体名